

問題Ⅰ

清はアヘン戦争やアロー戦争に敗れると、列強と種々の不平等条約を結んだ。同時期に太平天国の乱での混乱も生じ、漢人官僚によって、政治体制は変革せず西洋の技術を導入する洋務運動が始まった。しかし日清戦争で、同時期に近代化を進めた日本に敗れ、改革の限界が露呈した。そこで清の体制変革をも目指す戊戌の変法が行われたが、保守派の反発で失敗した。また日清戦争で各地に植民地を持つ列強の進出も本格化していた。これに対する危機感から、山東省を中心に義和団が「扶清滅洋」を掲げて蜂起した。清朝政府は義和団を支持し列強に宣戦布告したが、列強は8か国連合軍を組織し義和団は壊滅した。清は列強と北京議定書を結び、北京駐屯権を認めた。その後、光緒新政で立憲君主政を目指す改革が行われたが、民衆が反発し、辛亥革命によって滅亡した。

問題Ⅱ

- 問1 a プトレマイオス b 元首政（プリンキパトゥス）
c アエネイス d フォロ＝ロマーノ
e ネロ f コロッセウム
- 問2 カエサルが三頭政治ののちポンペイウスを倒して内乱を終結させ、終身独裁官に就任し君主政に意欲を示したため、共和政を望む共和派によって暗殺された。
- 問3 ポンペイ、ヘルクラネウムなどから一つ
- 問4 ローマ＝カトリック教会
- 問5 ディオクレティアヌスが専制君主政のもとで皇帝崇拝を強化したが、唯一神を奉じるキリスト教徒は皇帝に対する礼拝を拒否していたため、反社会的集団とみなされた。
- 問6 皇帝：コンスタンティヌス 都市：イスタンブル
- 問7 出来事：ニケーア公会議 宗派：アタナシウス派

問題Ⅲ

- 問1 雲崗石窟：C 大同石窟：B
- 問2 a：北魏 b：西夏
- 問3 皇帝：太武帝 道士：寇謙之
- 問4 武帝は匈奴を攻撃しつつ、匈奴挾撃の同盟のために大月氏に張騫を派遣した。大月氏は提案を断ったが、漢に帰還した張騫によって西域事情が明らかになった。
- 問5 鳩摩羅什
- 問6 僧侶：玄奘 旅行記：『大唐西域記』
- 問7 マニはパルティア末期に生まれ、ササン朝でマニ教を創始した。マニ教はササン朝で弾圧されて東西に伝播し、モンゴル高原を支配したトルコ系のウイグルでは国教とされた。
- 問8 ソンツェン＝ガンボ

問題Ⅳ

- 問1 レオ3世
- 問2 エグバート
- 問3 987年
- 問4 a：カタリ派（アルビジョワ派）
b：禁欲主義・善悪二元論
- 問5 a：ヴァロワ朝 b：ユグノー戦争
- 問6 ランカスター家・ヨーク家（順不同）
- 問7 フランスの三部会は聖職者・貴族・平民の三者の代表によって構成された。一方、イギリスの二院制議会は、大貴族や高位聖職者で構成する上院と、各州のジェントリと都市の代表で構成する下院から成り立っており、法律制定、新課税などで下院の承認を必要とした。